障害者を招待してバロック音楽コンサートと二つの小学校へリコーダー出前レッスン

橋本ＲＣ　社会奉仕委員会

10月28日(日)障害のある方々を招待し、会員及び家族との交流を目的にバロック音楽コンサートを催しました。世界を舞台に活躍する四人の著名な演奏家を招きました。リコーダー　チェンバロ　バロックバイオリン　バロックチェロのカルテット。リコーダーの花岡和生さんが橋本市出身者で実現しました。演奏終了後余韻覚めやらぬ会場で障害者との会話が始まり、楽器に触れたり、しゃべるのが不自由な人も演奏者に質問をしたり、目の見えない方も楽器や弦やキーに触れて説明を聞いたりで、たちまち和やかで感動的なシーンが会場一杯に広がりました。またコンサートの前日と翌日、花岡さんにお願いして市内二つの小学校で、中高学年にリコーダーのレッスンを提供しました。本式のレッスンを受ける子供たちが、目を輝かせて熱心に指導を受ける様子に、私達もよかった！と幸せな気持ちになりました。やってみて解った事ですが、私たちは平素如何に障害を持った人たちと別々に生きているかという事です。外では普段何気なく見かけたりしますが、考えてみると言葉を掛けたり笑顔を交わしたりする事はありません。招待する為の障害者になかなかたどり着けなかったのです。障害者にも肢体・視力・聴覚・夫々の障害者が居て、夫々の方への接し方が異なる事など、この度の社会奉仕事業を進めていく過程で多くの事を学び、奉仕よりも得るものの方が多かった活動でした。